

令和5年度
教育研修員研修
プログラム

群馬県総合教育センター

I 長期研修

1 目的

本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導力や助言力を高めるとともに、研究協力校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

- 国の動向や県教育委員会の指導方針を踏まえて、「始動人」の育成や教育課題の解決に向けた研究及び研修を行う。
- 研究協力校等の校内研修に積極的に参画し、実践的な指導力や助言力を高める。

3 研究等

(1) 主な予定

月	研究	研修	研究協力校等での実践				
4	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマの設定 ○文献講読、先行研究調査等 ◆研究主題検討会 ○研究計画の立案 ◆研究計画検討会 ○大学、大学院等との連携による研究の深化(適時) ◆研究実践検討会 ○教材の開発、調査の実施 ○研究協力校等における開発教材の検証、調査結果の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマの理解(文献講読、先行研究調査等) ○大学、大学院等との連携による研究の深化(適時) ○学力向上推進事業等への参画 ○各種協議会、研修会等における報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の教育課題に関する研修講座等への参加 ・学校組織マネジメント ・スクールコンプライアンス ・危機管理 等 ○研究や研究協力校OJT等の推進に係る研修員同士による協議 ○指導主事との協働による研修講座への参画 ○特別研修員の授業づくりへの参画(授業実践への助言) ○公開研究会等への参加 ○【義・特】中核市長期研修員との交流(合同研修) ○【高】教科指導や進路指導に関する指導力・助言力の向上に資する研修 ○【高】先進校、大学、民間企業等の視察 ○研修講師としての資質の向上に資する研修 ○長期社会体験研修員との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○【義・特】研究協力校OJT計画立案・推進 ・研修主任へのアドバイス ・研修推進委員会への参画 ・若手教員への授業支援 ・校内研修での情報提供 ・学力向上推進事業への参画 ○【高】高校教育課事業等との連携 ・副校長・教頭研究協議会での報告 ・キャリア教育・進路指導研究協議会での報告 ・高教研進路指導部会での報告 【研修期間後半～次年度】 ○若手教員等の課題への対応や授業改善に関する指導・助言 ○探究型教育活動の普及や組織的な授業改善の支援 			
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
1					○研究のまとめ(報告書の作成)		
2					○研究成果の発表(ぐんま教育フェスタ)		
3					○研究成果の共有		
	○研究報告書の刊行						

注) 【義・特】は高校籍以外の研修員、【高】は高校籍研修員を対象に実施。

(2) 研究

教育課題の解決に向けて、必要に応じてチームを編成し、教材開発研究や調査研究等に取り組む。各研修領域において、1人1台端末環境下におけるICT活用の特性・強みを生かした教育活動について追究する視点を取り入れる。研究開発した教材や授業の指導資料等を積極的に学校等へ提言し、協働的な実践を行い、実践結果を研究に反映させて研究内容の深化を図る。

【例】

- ・学校や地域全体の学力向上に寄与する教材の開発や活用プランの作成
- ・今日的な教育課題に即した教材の開発や指導資料の作成
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた研究
- ・多文化共生教育の充実に向けた研究
- ・高校教育における今日的な教育課題解決のための研究

等

(3) 研修

グループ演習やワークショップ型の演習、講読演習等の参加体験型の研修を行う。

【例】

- ・学校組織マネジメント
 - ・スクールコンプライアンス
 - ・危機管理
 - ・教育指導上の課題解決
 - ・教科指導や進路指導に関する指導力・助言力の向上
 - ・先進校、大学、民間企業等の視察【高校籍】
 - ・研修講座への参画
 - ・特別研修員への指導・助言
- 等

(4) 研究協力校等での実践

○校内研修の時期や回数について研究協力校等と相談し、研修主任と連携を図りながら、校内研修に積極的に関わる。

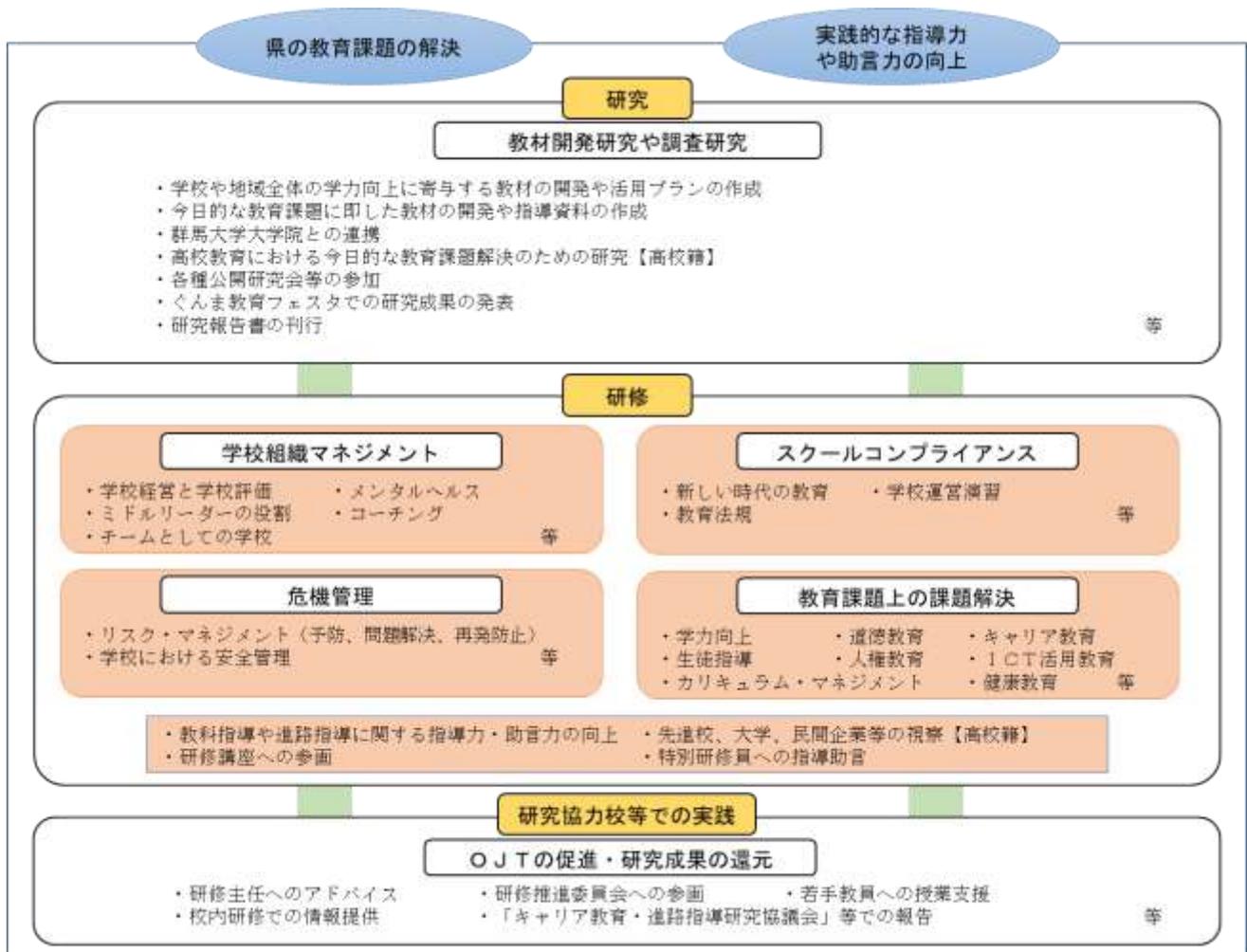
○若手教員への授業支援等に取り組み、実践的な指導力・助言力を身に付ける。

○自身の研究の成果を踏まえ、各種協議会の講師等として研究成果を還元する。

【例】

- ・研修主任へのアドバイス
 - ・研修推進委員会への参画
 - ・若手教員への授業支援
 - ・校内研修での情報提供
- 等

【長期研修のイメージ】



Ⅱ 長期社会体験研修

1 目的

企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

○企業等における研修を通して社会的識見を高めるとともに、学校組織の活性化に資する研修を行う。

○研修の成果を「始動人」の育成を目指した本県のキャリア教育の充実に生かす。

3 研究等

(1) 主な予定

月	企業等研修	センター研修 (30日)		研究協力校等での実践 (6日)
4	[年間を通して]	【講義・演習等】 [年間を通して]	【実践に関わる資料作成等】	
5	○経営的視点での業務貢献	○キャリア教育に関する講義・演習	○キャリア教育実践(授業実践、校内研修)の実施計画の立案	○キャリア教育実践(授業実践、校内研修)の実施計画の検討
6	○教科等の専門性の向上	・キャリア教育の意義と背景		
7	・職業や産業に対する理解の深化	・キャリアカウンセリングの進め方 等	○キャリア教育実践(授業実践、校内研修)の指導案や資料等の作成	○キャリア教育実践(授業実践、校内研修)の実施内容の検討
8	・企画・立案・実行力の発揮	○始動人育成に関する講義・演習		
9	・マネジメント能力の強化	・キャリア教育と始動人の育成 等	○中間発表	
10	・企業における組織運営の工夫	○組織経営に関する講義・演習		○キャリア教育実践(授業実践、校内研修)の実施
11	・職位職階別に求められる能力	・組織マネジメント	○キャリア教育の充実及び学校組織の活性化に資する成果物の作成	
12	・企業経営と経営理念	・情報モラルとセキュリティ 等		
1	・地域社会への貢献	○職業事情に関する情報収集		
2		・様々な業界・業種の企業訪問	○上記資料等の完成	
3		・公共職業安定所への訪問 等	○研修成果の発表(ぐんま教育フェスタ) ○研修報告書の刊行	○教員研修での講義 ○高校専門部会での報告

(2) 企業等研修

研修員は研修先企業等での業務への取組を通して、社会的識見や教科の専門性を高める。研修内容は、研修先企業等との協議の上、決定する。

【例】

- ・企業における組織運営の工夫
- ・職位職階別に求められる能力
- ・企業経営と経営理念
- ・地域社会への貢献
- ・教科の専門性の向上
- 等

(3) センター研修

キャリア教育や組織運営に関する講義・演習を行う。また、研修先企業等での体験を生かしたキャリア教育及び校内研修に関する指導資料を授業や行事等の実践場面に応じて作成する。

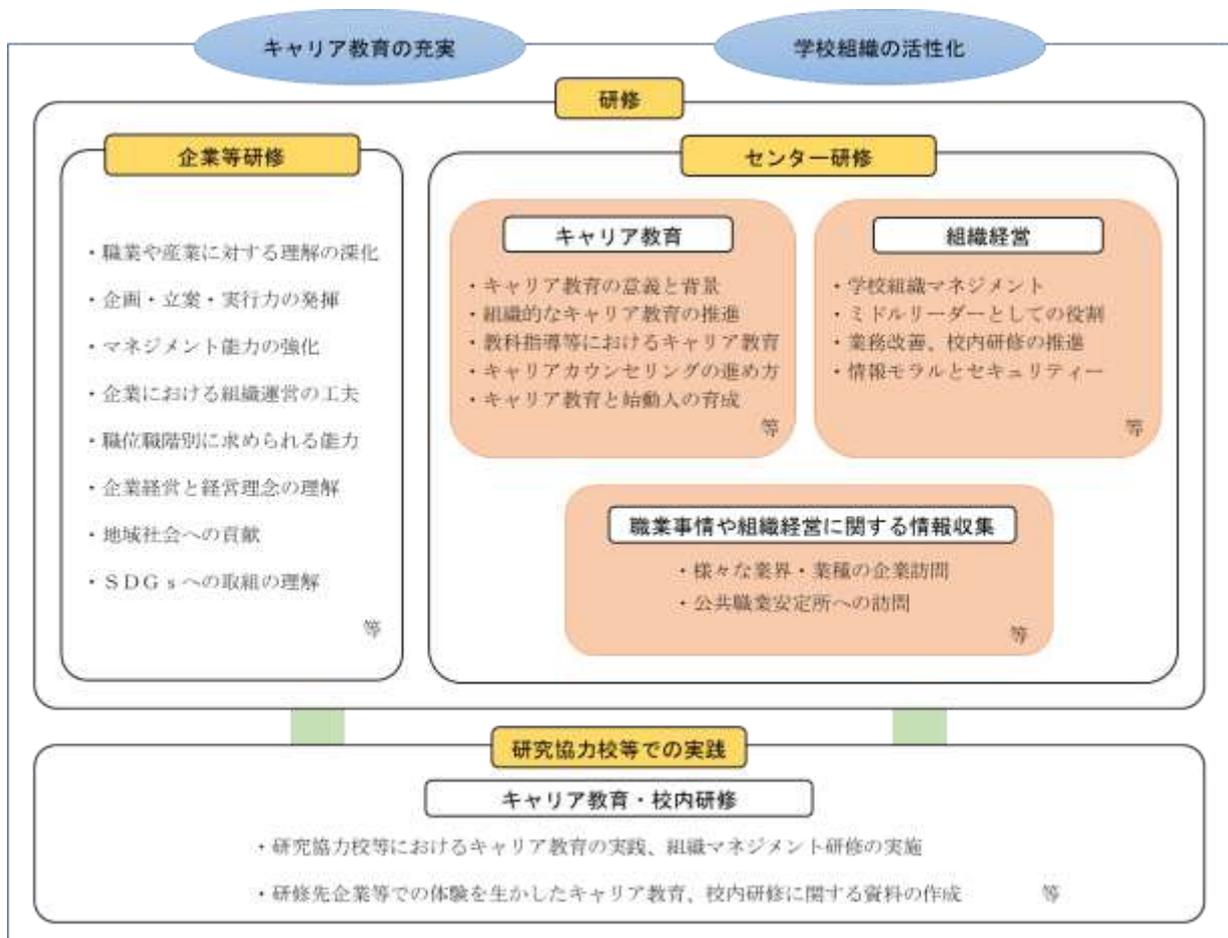
【例】

- ・キャリア教育の意義と背景
- ・学校組織マネジメント
- ・業務改善、校内研修の推進
- ・キャリアカウンセリングの進め方
- ・キャリア教育と始動人の育成
- 等

(4) 研究協力校等での実践

研究協力校等でのキャリア教育の実践、校内研修や公開授業での研修成果の発表を行い、研修の成果を学校等に還元する。

【長期社会体験研修のイメージ】



Ⅲ 特別研修

1 目的

授業・保育実践等を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校等や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

○幼児、児童生徒の実態に応じた授業実践等を通して、指導方法や評価方法の改善に資する研究及び研修を行う。

○積極的に授業・保育公開を行い、教職員の教科等の指導力向上に寄与する。

3 研究等

(1) 主な予定 [年間 25 日 (所外研修 1 日)]

月	研 究	研 修
4	○研究テーマの設定	[年間を通して] ○指導方法や評価方法の改善に資する研修 (グループ、ワークショップ型の演習等による) ・学習指導 ・生徒指導 ・組織運営 ○長期研修員との協議 ○公開研究会等への参加 [2回の授業・保育実践等を終了後] ○授業・保育実践等の評価 ○授業・保育改善のための協議
5	○研究計画の立案 研究テーマ検討会	
6	○授業・保育改善案の策定	
7	○指導案の作成 公開授業・保育① 中間検討会	
8	○模擬授業・保育 公開授業・保育②	
9	○指導案の作成	
10	○模擬授業・保育	
11	○協議による検証	
12	草案検討会	
1	○研究のまとめ (研究報告書の作成)	
2	○研究成果の発表 (ぐんま教育フェスタ)	
3	○研究報告書の刊行	

(2) 研究

「全国学力・学習状況調査」や「はばたく群馬の指導プランⅡ」「県立学校教育指導の重点」「就学前のぐんまの子どもはぐくみプラン」等に基づき、授業・保育等の改善に取り組む。研究内容により、「はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用 Version」との関連を図りながら、ICTを効果的に活用した授業実践を行う。研究テーマを設定し、「授業・保育等の改善案の検討及び策定」と「授業・保育等の実践」のサイクルを繰り返しながら研究内容を深化させる。校・園内や県内の教職員に対して積極的に授業・保育等の公開を行い、地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与する。

【例】

- ・各教科・領域における授業の在り方に関する研究
 - ・指導と評価の一体化を図る授業の在り方に関する研究
- 等

(3) 研修

模擬授業・保育や長期研修員との協議等を通して、授業・保育等の改善のための方策を提案する。グループ演習やワークショップ型の演習等の参加型の研修を行う。また、講義等を通して育成すべき資質・能力や授業・保育改善に関する最新の教育情報の収集を行う。

【例】

- ・模擬授業・保育（長期研修員との協議）
- ・学習指導を充実させるための演習・協議
（「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」「授業改善とICT活用」等）
- ・学校・園の諸課題解決のための演習・協議
（「カリキュラム・マネジメント」「学校運営への参画と組織的な取組の推進」等）

【特別研修のイメージ】

